



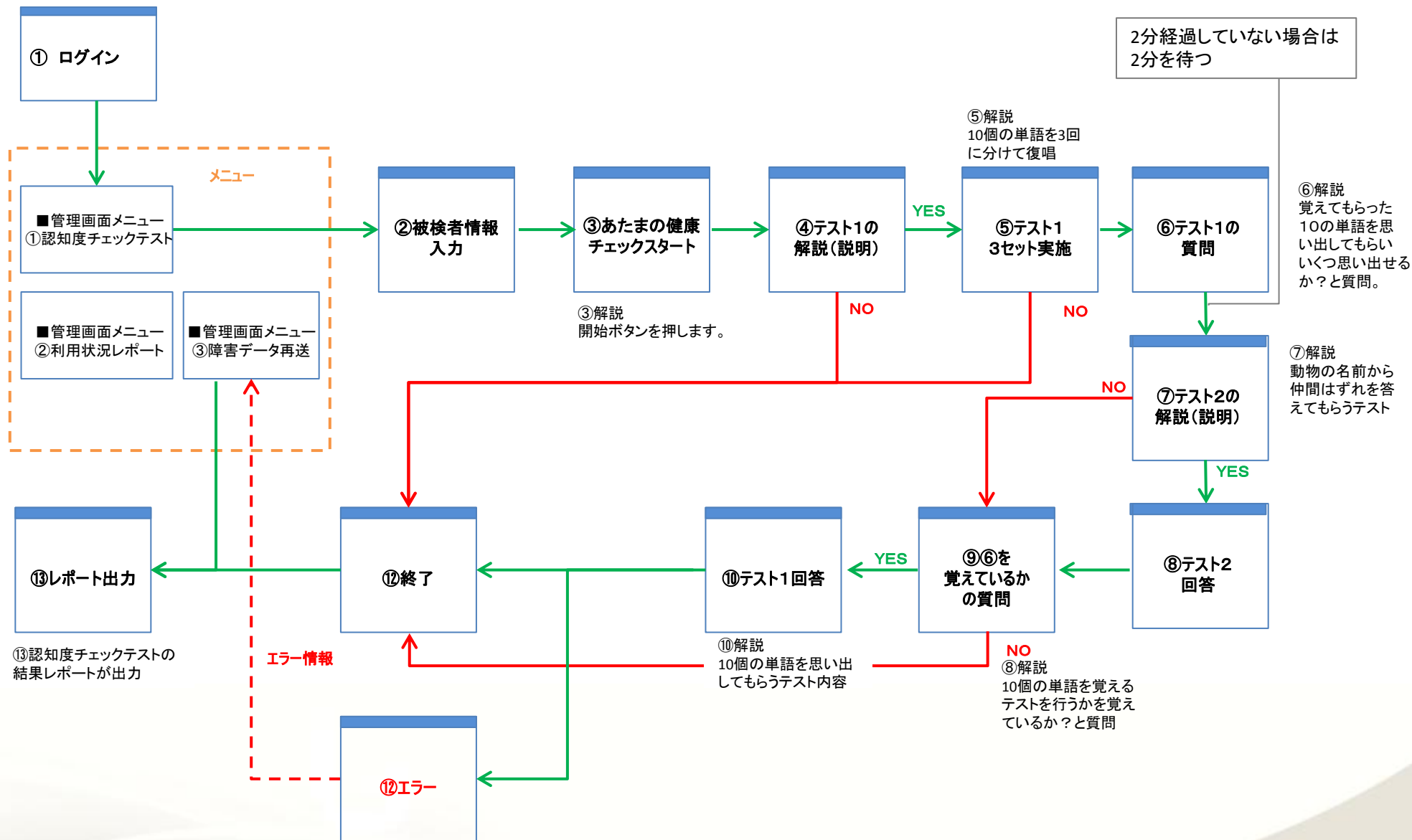
**あたまの健康チェック**

---

**操作マニュアル**

**2017 Ver. 2.1 S**

# 画面遷移図





## あたまの健康チェック

会社ID:

ユーザー名:

パスワード:

LOG IN !!

本サイトを利用される場合、利用規約への同意が必要となります。[利用規約](#)をご一読の上、ご同意下さい。

☐ 利用規約に同意する

© 2006-2017 MILLENNIA Corporation. All rights reserved.

事前に配布された「会社ID」「ユーザー名」、  
「パスワード」を入力します。

画面上の利用規約へのリンクをクリックし、  
利用規約を確認したのち  
“利用規約に同意する”のチェックボックスに  
チェックを入れて下さい。

「会社ID」「ユーザー名」、「パスワード」を入力し  
“利用規約に同意する”にチェックを入れたうえで  
「LOG IN!!」ボタンをクリックしログインします。  
ログイン後メニュー画面を表示します。

## あたまの健康チェック

MCIS  
認知度チェックテスト

MY PAGE

メニュー

→ 認知度チェックテスト | スタート

あたまの健康チェックを開始します。  
クリックすると被検者情報入力画面を表示します。

管理画面メニュー

→ 障害データ再送 | データを再送

通信障害でデータが送信できなかった場合に  
利用する画面です。クリックすると障害データ再  
送画面を表示します。

→ 利用状況レポート | 利用状況確認

レポートの再印刷時に利用します。クリックする  
と利用状況レポート画面を表示します。

参考資料: 同意書[Download](#)

被検者の個人情報の取扱いに関する同意書の  
テンプレートファイルがダウンロードできます。  
クリックするとダウンロード画面を表示します。

ログアウト

ログアウトします。  
クリックすると  
ログイン画面に戻ります。

MCIS  
認知度チェックテスト

## 障害データ再送

エラー件数: 3 件

アセスメントID	アセスメント日	ID	性別	生年月日	学歴年数	人種	再送
20120802120503	2012年08月02日	1	男	1900年02月01日	16	American Indian or Alaska Native	再 送
20121005201720	2012年10月05日	2	女	1901年04月04日	6	Asian	再 送
20121113210944	2012年11月13日	32	男	1975年05月15日	16	Asian	再 送

◀ TOPへ戻る

現在の回線エラーとなった件数を表示します。

あたまた健康チェックの際に入力した情報が表示されます。  
アセスメントID: テストの際に割り当てられたアセスメントID  
アセスメント日: テストを行った日付  
ID : 被検者ごと異なるID  
性別: テストの際に選択した性別  
生年月日: テストの際に選択した生年月日  
学歴年数: テストの際に入力した学歴年数  
人種: テストの際に選択した人種

再送したいアセスメント行のボタンをクリックし、認知度チェックテスト解答を再送します。  
再送が正常に完了すると、一覧からデータが消え、レポートが表示されます。

メニュー画面に戻ります。

## あたまの健康チェック

MCIS  
認知度チェックテスト

### 利用状況レポート

あたまの健康チェック結果を表示します。

#### スクリーニング件数:

スコア表示が表示された件数  
※エラーは件数としてカウントされていません。

**アセスメントID:** テスト毎に割り当てられるシステム用のID

**アセスメント日:** テストを行った日付

**ID:** 被検者ご一意になるID

**被検者ID:** テストの際に入力する被検者の情報

**性別:** テストの際に選択した性別

**年齢:** テストの際に入力した年齢

**学歴年数:** テストの際に入力した学歴年数

**人種:** テストの際に選択した人種

**結果:** 異常は発見できません、MCIの疑いあり、ボーダーラインが表示されます。

**テスト時間:** テストに要した時間(秒)を表示します。

**印刷:** ボタンをクリックすることで、再度レポートを表示します。

**ページング:** 件数が20件を超える場合に表示されます。

各ページのリンクをクリックすることで20件ごとのデータが表示されます。

**アセスメント日:** 検索対象の月・日を選択します。

表示は当月から2年分の月が表示されます。

**アセスメントID:** テスト時に自動採番されたアセスメントIDを入力します。

**ID:** テスト時に自動採番された被検者の識別番号を入力します。

**性別:** 性別を選択します。

**印刷回数:** 印刷回数を入力します。

**結果:** 結果を選択します。

(異常は発見できません、MCIの疑いあり、ボーダーラインなど)

**生年月日:** 生年月日を入選択します。年月日全て選択してください。

指定した条件すべてを満たすデータを検索し、明細に表示します。

アセスメント日: 全て 全て 全て アセスメントID: ID: 175 検索

性別: ☒ 指定なし ☐ 男性 ☐ 女性 印刷回数: 結果: 全て

生年月日: --年を選択する-- --月を選択する-- --日を選択する-- カードorPIN番号: 検索

#### スクリーニング件数 4 件

アセスメントID カードorPIN番号	アセスメント日	ID	被検者ID	性別	年齢	学歴 年数	人種	結果	テスト 時間	印刷
20130118163839	2013/01/18	175	テスト 太郎	男	90	16	Asian	MCIの疑いあり	550	印刷
20130130175751	2013/01/30	175	テスト 太郎	男	90	16	Asian	MCIの疑いあり	291	印刷
20130206091117	2013/02/06	175	テスト 太郎	男	90	16	Asian	テスト途中終了(判定不能)		印刷
20130528112341	2013/05/28	175	テスト 太郎	男	91	16	Asian	MCIの疑いあり	521	印刷

◀ TOPへ戻る

CSV出力

メニュー画面に戻ります。

検索の結果抽出された内容をCSVに出力します。

## 対象者情報をご入力ください。

記入する必須項目には「\*」がついています。

アセスメントID: 20170707102740

アセスメント年月日: 2017年7月7日

被検者IDで検索

被検者情報クリア

\*被検者ID:

ID1: 2017

ID2: 0628

被検者情報入力画面から被検者ID検索画面を表示し、  
被検者を選択した結果のイメージです。

## 利用状況レポート

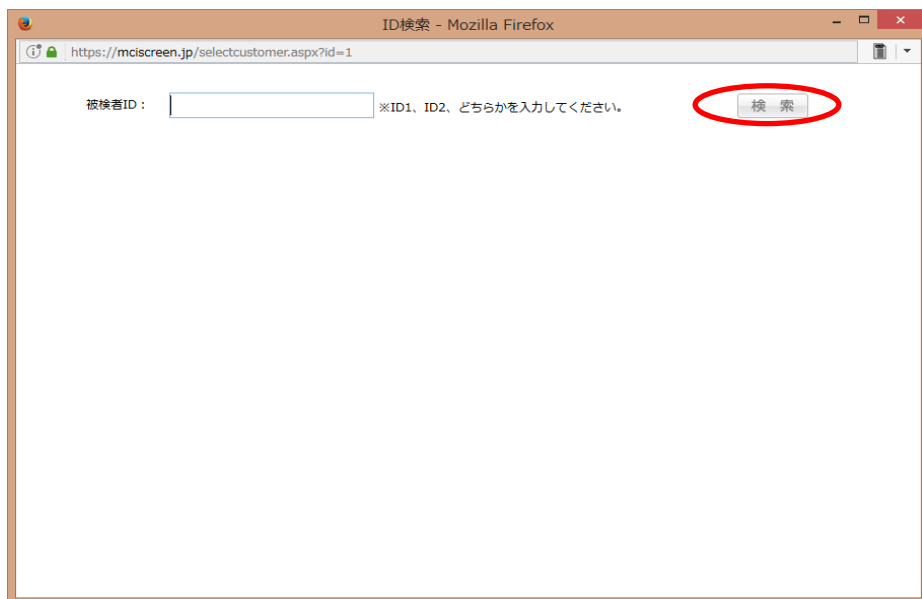
アセスメントID: 全て ▼ 全て ▼ アセスメントID: ID: 18304 検索  
性別: ☒ 指定なし ☐ 男性 ☐ 女性 印刷回数: 結果: 全て ▼  
生年月日: --年を選択する-- --月を選択する-- --日を選択する-- カード/PIN番号:

検索

スクリーニング件数 1 件

利用状況レポート画面から被検者ID検索画面を表示し、  
被検者を選択した結果のイメージです。

# 被検者ID検索画面



**被検者ID:** 検索する被検者IDを入力します。  
未入力でも構いません。  
但し、被検者ID1と被検者ID2の両方は入力しないで下さい。  
どちらか一方のみの入力で正しい検索が可能です。

例)

被検者ID1: hiken  
被検者ID2: A001  
のような被検者情報を検索したい場合、  
被検者ID入力欄には、  
「hiken」もしくは「A001」のどちらかを入力します。  
「hikenA001」と入力してしまうと検索されません。  
また検索文字の一部でも検索可能です。  
例えば「ken」でも「001」でも可です。

**検索:** 入力した被検者IDに該当する  
既存の被検者情報が表示されます。  
未入力の場合は、全ての被検者情報が表示されます。

**選択:** 対象の被検者を選択します。  
選択ボタンをクリックすると被検者情報入力画面に戻り、  
選択した被検者の情報が自動的に表示されます。  
但し、利用状況レポート画面からこのID検索画面を開いていた  
場合には、利用状況レポート画面に戻ります。  
その場合、利用状況レポート画面上には、  
「ID」のみが表示されます。



ID	被検者ID	選択
17364	2017 0518	選択
17662	2017 0529	選択
18304	2017 0628	選択



# あたまの健康チェックの全般的な注意事項

## 初めに

次のことを確認してください。

- ・オペレーターと被検者が1対1であること。
- ・オペレーターがリラックスしていること。
- ・オペレーターがテストに慣れていること(2～3回程度の練習)。
- ・オペレーターの手元にトークスクリプト、操作マニュアルがあること。
- ・静かな環境であること。
- ・被検者が聴覚に問題がないことを確認すること。
- ・被検者からチェックテストの画面が見えないようにすること。
- ・FAST判定でステージ6以上(重度)である場合にはテスト実施不可能である場合が多い。  
(この場合、MMSEを用いても適切な実施、評価が難しい)  
※別表1を参照ください

## テスト全般

次のような場合、注意して対応してください。

1. 問題の説明が理解できなかった場合には、説明をもう一度繰り返してあげてください。
2. 問題の説明の表現は意味が同じであれば変えて伝えてもかまいません。
3. 「わからない」「選べない」「協力しない」「疲れた」等の回答があった場合、できるだけ励ましながら回答を促してテストを続けていただけてください。  
※途中で終了してしまうとレポートが作成されませんので、できるだけテストを続けていただけるようにしてください。  
例)  
「がんばりましょう」  
「正答誤答はないのでどれか選びましょう」  
「もう少しですよ」
4. テストの回答で「わからない」「復唱できない」「いいえ」を選ぶのは最終手段で、極力回答を促してテストを続けてもらってください。
5. 「10の単語を覚える作業を覚えていますか？」の問いに「いいえ」と回答された場合はできるだけ思い出してもらえようフォローしてください。「いいえ」を選択するのは最終手段だと考えてください。  
※オペレーターから被検者へ覚えた10の単語を言わないようにしてください。
6. メモをとらないように注意してください。
7. テストの途中でもう一度ははじめからやりなおしたいと言われても正確な結果を出すためにやり直すことができないと伝えてください。
8. 学習経験年数がわからないと言われたら小学校卒業に値する『6』を入力します。
9. ブラウザの『戻る』ボタンもしくはキーボード上の「BACK SPACE」をクリックするとエラーの元となりますので、テスト実施中は絶対にクリックしないでください。

**MCIS**  
認知度チェックテスト

## 対象者情報をご入力ください

記入する必須項目には「\*」がついています。

アセスメントID: 20170705121951

アセスメント年月日: 2017年7月5日

被検者IDで検索

被検者情報クリア

\*被検者ID:

ID1:

ID2:

被検者に割当てられた情報を表示します。  
アセスメントID: 自動的に割当てられたシステムIDです。  
アセスメント日: 今日の日付けが表示されます。

被検者IDで検索: クリックすると、検索画面が表示されます。  
被検者情報クリア: 表示されている被検者ID、性別、生年月日、学習経験年数、人種がクリアされます。

被検者IDで検索: 被検者検索画面が表示されます。8ページの「被検者ID検索画面」を参照ください。

被検者IDを入力してください。

※ID1とID2両方とも入力してください。  
※個人情報保護の為、ID1・ID2の欄には  
任意のIDを入力してください。

# 被検者情報入力画面①

→ 黄色いところが台詞になります

本人確認  
注意事項  
説明

- ・あたまの健康チェックを実施する為に、何点かお伺いさせていただいてもよろしいでしょうか？
- ・これからあたまの健康チェックを始めますがあたまの健康チェックは質問形式になります。聞き取りが難しいようですと正しいレポートが出ません。聴力に問題は有りませんか？

## 聴覚に問題がある

大変申し訳ございません。先ほど申し上げましたように、あたまの健康チェックは質問形式で行われますので、聞き取りが難しいようですとテストの結果が適切に行えず正確な結果が得られない場合がございます。ご了承ください。

利用回数

- ・このあたまの健康チェックを受けるのは初めてですか？

※過去にあたまの健康チェックを受けられたとしても途中で終了している場合は1回目としてください。

## 2回目

- ・今回が2回目以降であれば前回の被検者情報が登録されています。操作マニュアルに記載の方法で前回の被検者情報を検索し、表示させ「次へ進む」をクリックしてあたまの健康チェックをスタートさせてください。

## 1回目

被検者  
情報  
入力

- ※あたまの健康チェックを受検されるのが2回目以降の場合は自動的に表示されますので必要ありません。「次へ進む」をクリックしてチェックテストをスタートさせてください。
- ・お名前をお伺いしてもよろしいでしょうか？

※被検者ID1、被検者ID2、両方とも入力してください。  
※個人情報保護の為、被検者ID1・ID2の欄には任意のIDを入力してください。

次へ

## 被検者情報入力画面②

\*性別

男	選択	女	選択
---	----	---	----

性別：性別を選択します。  
選択すると以下のように色が反転します。

男 ☒ 戻る

もう一度クリックすると元に戻ります。

\*生年月日

--年を選択する-- --月を選択する-- --日を選択する--

生年月日：被検者の生年月日を必ず選択してください。

\*学習経験年数

6年未満の場合は6、31年以上の場合は30と、6～30の範囲で入力して下さい。  
 入力例) 小学校卒業の場合：6  
 中学校卒業の場合：9  
 高等学校卒業の場合：12  
 4年制大学卒業の場合：16

学習経験年数：学習経験年数を入力します。  
例)  
 小学校卒業であれば、「6」を入力します。  
 中学校卒業であれば、「9」を入力します。  
 高校卒業であれば、「12」を入力します。  
 専門学校卒業であれば「14」を入力します。  
 大学卒業であれば、「16」を入力します。  
 大学院卒業であれば「18」を入力します。

\*人種

アメリカ先住民、アラスカ先住民 American Indian or Alaska Native;	選択	アジア系 Asian	選択
黒人、アフリカ系アメリカ人 Black or African American	選択	ヒスパニック、ラテン系 Hispanic or Latino	選択
ハワイ先住民もしくはその他の太平洋諸島系 Native Hawaiian or Other Pacific Islander	選択	白人 White (Caucasian)	選択
その他 Not Certain	選択		

人種：人種を選択します。  
選択すると以下のように色が反転します。

アメリカ先住民、アラスカ先住民  
American Indian or Alaska Native;

☒ 戻る

戻る

テストを中断しメニュー画面に戻ります。  
レポートは作成されません。

次へ進む

あたまの健康チェックスタート画面に進みます。

## 被検者情報入力画面②

→ 黄色いところが台詞になります

※あたまの健康チェックを受検されるのが2回目以降の場合は自動的に表示されますので入力はありません。「次へ進む」をクリックしてチェックテストをスタートさせてください。  
1回目の場合は入力を進めてください。

・性別は「男性」or「女性」でよろしいでしょうか？

※男性の場合は「男性」女性の場合は「女性」と言い換えてください。

・生年月日をお伺いしてもよろしいでしょうか？

→年齢は自動計算されます。年齢だけでもいいですが、正確にするには生年月日を聞いてください。

・学校に通われた期間をお伺いしてもよろしいでしょうか？

(例えば、小学校から高校まででしたら、6年、3年、3年で12年となります。)

・ありがとうございます。それでは、テストを開始させていただきます。

被検者  
情報  
入力

画面にてテスト開始をクリック

MCIS  
認知度チェックテスト

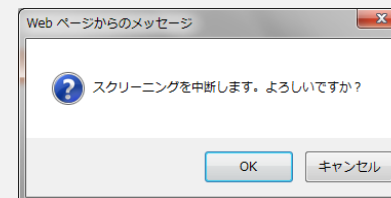
これより、  
認知度チェックテストを始めます。  
【スタート】をクリックすると  
テストが始まります。

スタート ▶

あたまの健康チェックを開始します。  
クリックすると10単語テスト説明画面に進みます。

◀ スクリーニング中断

テストを中断します。  
クリックすると以下の確認メッセージが表示されます。  
「OK」をクリックするとテストを中断し、メニュー画面に戻り、  
「キャンセル」をクリックすると何も起こらずに確認メッセージが  
消えます。  
「OK」をクリックしてテストを中断した場合、  
レポートは作成されません。



# 10単語テスト説明画面

MCIS  
認知度チェックテスト

START

00:00:00 秒



対象者に向かって大きな声で質問を読み上げてください。

これから10の単語からなるリストを覚えてもらいます。  
これらの単語をひとつずつ読み上げますから、それぞれ復唱してください。  
10の単語をすべて読み終えたあと、それらの単語をできるだけ多く思い出してもらいます。同じ作業を3回行います。  
その後、2〜3分後に、今度は単語は読み上げませんが、もう一度、覚えた言葉をできるだけ多く思い出してもらいます。分かりましたか？

理解した

選択

理解できない

選択

協力を拒んだ

選択

その他：下に内容を記入してください

選択

理解できない場合は、その理由を200文字以内で下に記入してください。

次へ進む ▶

メニュー画面に戻ります。  
テストを途中で中断する時に使用します。  
本画面以降の全てのテスト画面にてこの機能があります。  
このとき、レポートは作成されません。

あたまた健康チェックを開始してからの秒数を表示します。  
次の画面以降も同じように、開始してからのトータル時間が表示されます。

上記の説明後、被検者の回答によって選択します。  
以下のように選択すると色が反転します。

理解した



戻る

「理解した」以外を選択して「次へ進む」をクリックすると、チェックテストが終了となり、レポートは作成されません。

選択肢で「理解できない」を選択した場合にその理由を記載します。

10単語テスト画面に進みます。

© 2006~2008 MILLENNIA Corporation. All rights reserved.

# 10単語テスト説明画面

→ 黄色いところが台詞になります

## STEP1

・これから、10の単語からなるリストを覚えてもらいます。  
これらの単語をひとつずつ読み上げますから、それぞれ復唱してください。

・10の単語をすべて読み終えたあと、それらの単語をできるだけ多く思い出してもらいます。  
同じ作業を3回行います。

・その後、2～3分後に、今度は単語は読み上げませんが、もう一度、覚えた言葉をできるだけ多く思い出してもらいます。  
分かりましたか？

### 注意事項

- ・回答が多い場合15単語程度で静止し打ち切ってください。
- ・被検者の回答が聞き取れなかった場合はもう一度聞き直しましょう。
- ・1ワードに復唱するまでの時間は2～3秒が目安です。
- ・聞き間違いで正してあげるのは問題ありません。
- ・「○○って言ったっけ？」という問いには答えず、受け流してください。
- ・同じものを続けて「え～リンゴ、リンゴ、リンゴ」と言った場合には、3回クリックせず、1回のみクリックしてください。
- ・思い出しを完了し「次へ進む」をクリック後、「やはり思い出した！」という場合には、「戻る」ボタンで戻り、その単語を選択してあげてください。しかし、次の復唱が始まった状態では不可とします。
- ・「リンゴ、いややっぱり、リンゴじゃない」と一度発した単語を即座に否定した場合には「元に戻す」ボタンで取り消してあげてください。
- ・「ん～、みかんだったかなあ～、あ、やっぱり、リンゴ」と一度発した単語を即座に否定した場合には、訂正後の単語のみをクリック(リンゴ)してください。
- ・「ん～、みかんかなあ～、リンゴかなあ」と回答があった場合、「みかんですか？リンゴですか？」と確認してください。
- ・「今何問題？」「答えられないと結果が悪くなりますか？」「リンゴって言ったっけ？」などの質問には答えずテストですのでお答えできませんとお答えください。
- ・理解できないと仰せの方にはなるべく理解いただくよう説明して、どうしても理解できないようであればテスト終了となり再度テストできない旨を伝えてください。

次へ



# 10単語テスト トライアル（3回繰り返される）復唱画面

MCIS  
認知度チェックテスト

START

00:00:02 秒



対象者に向かって大きな声で質問を読み上げてください。

それぞれのリストを読み上げるタイミングは約2～3秒に1語が適当です。

これから10の単語からなるリストを読み上げます。  
ひとつ読み上げるたびに、その単語を復唱してください。  
これは、あなたが正しく聞き取ったことを確認するためです。

対象者の答え

それぞれの単語が正しく復唱されたかを、チェックしてください。

バター(ばたー)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
腕(うで)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
岸边(ぎしべ)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
手紙(てがみ)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
女王(じょおう)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
小屋(こや)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
ボール(ぼーる)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
チケット(ちけっと)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
草(くさ)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった
エンジン(えんじん)	✓ 正しく復唱 された	✓ 正しく復唱 されなかった

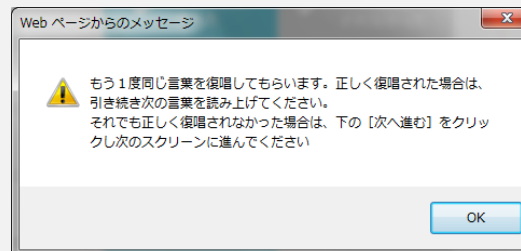
戻る

次へ進む

10単語が画面に表示されます。  
説明文の通りに10単語を読み上げ、正しく復唱された場合は  
「正しく復唱された」を選択し、正しく復唱されなかった場合は  
「正しく復唱されなかった」を選択して下さい。選択後は以下の  
ように色が反転します。

✓ 正しく復唱  
された

また、正しく復唱されなかった場合は以下の警告が表示されま  
すので、すべての単語の選択肢を選択した上で 画面右下の  
[次へ進む]をクリックし、次のスクリーンに進んで下さい。



最後にどれか1つでも「正しく復唱されなかった」を選択した状  
態で「次へ進む」をクリックすると、テストは終了となり、レポート  
は作成されません。

10単語テスト(記憶)画面に進みます。

1つ前の10単語テストの説明画面に戻ります。

# 10単語テスト トライアル（3回繰り返される）復唱画面

→ 黄色いところが台詞になります

## STEP2 (1回目)

### 1回目(復唱)

・ありがとうございます。それでは、これから10の単語からなるリストを読み上げます。  
ひとつ読み上げるたびに、その単語を復唱して下さい。これは、●●さんが正しく聞き取ったことを確認する為ですのでよろしくお願いいたします。  
それでは始めます。

※聞き損じ、聞き間違いはもう一度確認して、正しければ正解にしてあげましょう。 ※回答が多い場合15単語程度で静止し打ち切ってください。  
※回答には厳密な時間制限はなく、自然な会話の流れの中で不自然にならない程度にご対応ください。

### 1回目(思い出し)

では、できるだけ多く、思い出してください。お答えはひとつずつお願い致します。

## STEP2 (2回目)

### 2回目(復唱)

・ありがとうございます。それでは、もう一度10の単語からなるリストを読み上げます。  
ひとつ読み上げるたびに、その単語を復唱して下さい。これは、●●さんが正しく聞き取ったことを確認する為ですのでよろしくお願いいたします。  
それでは始めます。

※聞き損じ、聞き間違いはもう一度確認して、正しければ正解にしてあげましょう。 ※回答が多い場合15単語程度で静止し打ち切ってください。  
※回答には厳密な時間制限はなく、自然な会話の流れの中で不自然にならない程度にご対応ください。

### 注意事項

・2、3回目の説明は、全文読み上げなくても「それではもう1度読み上げます」程度で問題ありません。

### 2回目(思い出し)

では、できるだけ多く、思い出してください。お答えはひとつずつお願い致します。

## STEP2 (3回目)

### 3回目(復唱)

・ありがとうございます。それでは、もう一度10の単語からなるリストを読み上げます。  
ひとつ読み上げるたびに、その単語を復唱して下さい。これは、●●さんが正しく聞き取ったことを確認する為ですのでよろしくお願いいたします。  
それでは始めます。

※聞き損じ、聞き間違いはもう一度確認して、正しければ正解にしてあげましょう。 ※回答多い場合回答が多い場合15単語程度で静止し打ち切ってください。  
※回答には厳密な時間制限はなく、自然な会話の流れの中で不自然にならない程度にご対応ください。

### 注意事項

・2、3回目の説明は、全文読み上げなくても「それではもう1度読み上げます」程度で問題ありません。

### 3回目(思い出し)

では、できるだけ多く、思い出してください。お答えはひとつずつお願い致します。

# 10単語テスト トライアル（3回繰り返される）記憶画面

MCIS  
認知度チェックテスト

START

00:01

STEP 1 STEP 2 STEP 3 STEP 4 STEP 5 STEP 6 STEP 7 STEP 8

対象者に向かって大きな声で質問を読み上げてください。

できるだけ多くの単語を思い出してください。

対象者の答え

（対象者が思い出した単語に該当するボタンを思い出した順にクリックします）

バター

腕

岸边

手紙

女王

小屋

ポール

チケット

草

エンジン

リストに載っていない言葉(WNOL)

元に戻す

選択した単語が単語テストを3回行った場合は2分後に思い出せる数の質問画面に進み、3回行っていない場合は単語テスト(復唱)画面に進みます。

戻る

次へ進む

1つ前の単語テスト(復唱)画面に戻ります。

被検者が読み上げた順にボタンをクリックします。  
画面下部にクリックした単語が順番に表示されます。  
該当する単語がない場合は「リストに載っていない言葉(WNOL)」をクリックします。

選択した単語が表示されます。

1. ジャズ

2. バス

3. ふた

4. 批評

5. 暗闇

6. 持ち主

7. 客

8. 持ち主

もし被検者が同じ単語を言った場合でもクリックしてください。  
例えば  
ジャズ、りんご、ジャズ  
この場合、1回目と3回目のジャズは両方クリックしてください。  
つまり、2回ジャズが表示されることになります。

ただし、同じものを続けて「え～りんご、りんご、りんご」と言った場合には、3回クリックせず、1回のみクリックしてください。

選択した単語を消したい場合にクリックします。  
最後の単語から順番に削除されます。  
例えば被検者が言い損じたときにクリックしてしまった場合に、「元に戻す」をクリックすれば一番最後の単語を消すことができます。  
オペレーターが聞き間違いでクリックした場合にも使えます。

© 2006-2009 MILLENNIA Corporation. All rights reserved.

# 10単語テスト トライアル（3回繰り返される） 記憶画面

→ 黄色いところが台詞になります

## STEP2 (1回目)

### 1回目(復唱)

・ありがとうございます。それでは、これから10の単語からなるリストを読み上げます。  
ひとつ読み上げるたびに、その単語を復唱して下さい。これは、●●さんが正しく聞き取ったことを確認する為ですのでよろしくお願いいたします。  
それでは始めます。  
※聞き損じ、聞き間違いはもう一度確認して、正しければ正解にしてあげましょう。※回答が多い場合15単語程度で静止し打ち切ってください。  
※回答には厳密な時間制限はなく、自然な会話の流れの中で不自然にならない程度にご対応ください。

### 1回目(思い出し)

・では、できるだけ多く、思い出して下さい。お答えはひとつずつお願い致します。

## STEP2 (2回目)

### 2回目(復唱)

・ありがとうございます。それでは、もう一度10の単語からなるリストを読み上げます。  
ひとつ読み上げるたびに、その単語を復唱して下さい。これは、●●さんが正しく聞き取ったことを確認する為ですのでよろしくお願いいたします。  
それでは始めます。  
※聞き損じ、聞き間違いはもう一度確認して、正しければ正解にしてあげましょう。※回答が多い場合15単語程度で静止し打ち切ってください。  
※回答には厳密な時間制限はなく、自然な会話の流れの中で不自然にならない程度にご対応ください。

### 注意事項

・2、3回目の説明は、全文読み上げなくても「それではもう1度読み上げます」程度で問題ありません。

### 2回目(思い出し)

・では、できるだけ多く、思い出して下さい。お答えはひとつずつお願い致します。

## STEP2 (3回目)

### 3回目(復唱)

・ありがとうございます。それでは、もう一度10の単語からなるリストを読み上げます。  
ひとつ読み上げるたびに、その単語を復唱して下さい。これは、●●さんが正しく聞き取ったことを確認する為ですのでよろしくお願いいたします。  
それでは始めます。  
※聞き損じ、聞き間違いはもう一度確認して、正しければ正解にしてあげましょう。※回答が多い場合15単語程度で静止し打ち切ってください。  
※回答には厳密な時間制限はなく、自然な会話の流れの中で不自然にならない程度にご対応ください。

### 注意事項

・2、3回目の説明は、全文読み上げなくても「それではもう1度読み上げます」程度で問題ありません。

### 3回目(思い出し)

・では、できるだけ多く、思い出して下さい。お答えはひとつずつお願い致します。

次へ

## 2分後に思い出せる数の質問画面

MCIS  
認知度チェックテスト

START  
00:03:12 秒

STEP 1 STEP 2 STEP 3 STEP 4 STEP 5 STEP 6 STEP 7 STEP 8 STEP 9

対象者に向かって大きな声で質問を読み上げてください。

今から2～3分後に、覚えてもらった10の単語を思い出してもらいます。  
いくつ思い出せると思いますか？

0	選択	0か1	選択
1	選択	1か2	選択
2	選択	2か3	選択
3	選択	3か4	選択
4	選択	4か5	選択
5	選択	5か6	選択
6	選択	6か7	選択
7	選択	7か8	選択
8	選択	8か9	選択
9	選択	9か10	選択
10	選択	分からない	選択

戻る 次へ進む

説明文についての回答を選択します。  
選択すると以下のように色が反転します。

9か10



戻る

ここで「分からない」をクリックして「次へ進む」としてもテストは  
終了せず、そのまま続けられます。

※選択肢にない広い範囲で回答された時は「5問から6問など、  
1つ間隔でお答えください」と回答を促してください。

動物テスト説明画面に進みます。

単語テストを3回行った場合は2分後に思い出せる数の質問画面  
に戻り、3回行っていない場合は単語テスト(復唱)画面に  
戻ります。

© 2006-2009 MILLENNIA Corporation. All rights reserved.

# 2分後に思い出せる数の質問画面

→ 黄色いところが台詞になります

## STEP3

・ありがとうございます。

・今から2～3分後に、覚えて頂いた10の単語を思い出して頂きます。いくつ思い出せると思われますか？  
想像で結構です。

・ありがとうございます。

次へ

MCIS  
認知度チェックテスト

START

00:03:27 秒



対象者に向かって大きな声で質問を読み上げてください。

次に別のテストを実施します。  
今から動物の名前を3つずつ読み上げます。  
3つの中で最も異なると思われる動物を、1つ選んでください。  
どちらが正しいというものではありません。  
また、なぜ最も異なっているのかという理由を説明する必要はありません。  
分かりましたか？

理解した	選択	理解できない	選択
協力を拒んだ	選択	その他: 下に内容を記入してください	選択

理解できない場合は、その理由を200文字以内で下に記入してください。

◀ 戻る

次へ進む ▶

1つ前の2分後に思い出せる数の質問画面に戻ります。

テストの説明後、被検者の回答によって選択します。  
以下のように選択すると色が反転します。

理解した



戻る

「理解した」以外を選択して「次へ進む」をクリックすると動物テストは行いません。  
「10単語テスト(覚えているか)画面」までスキップします。  
動物テストを実施しなくてもレポートは作成されます。

選択肢で「理解出来ない」を選択した場合にその理由を記載します。

選択肢で「理解した」を選択した場合は動物テスト画面に進みます。

→ 黄色いところが台詞になります

## STEP4

・2～3分経つまでの間、次に別のテストを実施します。

・今から動物の名前を3つずつ読み上げます。3つの中で最も異なると思われる動物を、1つ選んでください。

・どちらが正しいというものではありません。また、なぜ最も異なっているのかという理由を説明する必要はありません。

・ご理解頂けましたでしょうか？

### 注意事項

・ここで「理解した」以外を選択して「次へ進む」とした場合でもテストは終了せず継続し、10単語テスト(覚えているか)に続きます。  
このとき動物テストは行われず「単語テスト(覚えているか)画面」までスキップします。  
この場合でもレポートは作成されます。

動物テストをしないと結果が悪くなるか？といった質問は受け流して答えないようにお願いします。

次へ



MCIS  
認知度チェックテスト

START

00:03:39 秒



対象者に向かって大きな声で質問を読み上げてください。

最も異なる動物はどれですか？ ゾウ,ウマ,うさぎ?

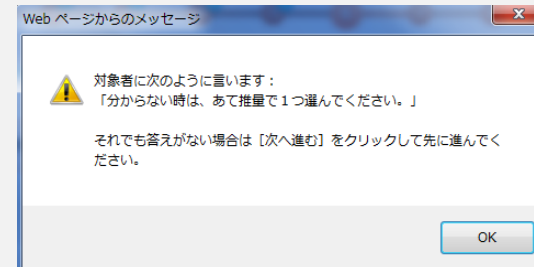
ゾウ	選択	ウマ	選択
うさぎ	選択	分からない	選択

上記の説明後、被検者の回答によって選択します。  
以下のように選択すると色が反転します。

うし

✓ 戻る

ここで「分からない」をクリックすると、  
以下の警告が表示されますので、メッセージに  
従ってください。



「分からない」を選択して「次へ進む」をクリック  
すると、チェックテストが終了となり、レポートは  
作成されません。

◀ 戻る

1つ前の動物テスト画面に戻ります。  
1問目の場合は動物テスト説明画面  
に戻ります。

次へ進む ▶

次の動物テスト画面に進みます。  
テストがない場合は、動物テスト完了  
後の単語テスト(覚えているか)画面  
に進みます。

→ 黄色いところが台詞になります

## STEPS

・それでは、最も異なる動物はどれでしょうか？ ●●、○○、■ ■？

※(画面上のテストが終わるまで、動物3種類を質問し続けてください)

### 注意事項

- ・「○○だからこれかな」と選択理由を述べる方には「説明の必要はないですよ」と動物選択のみの回答を促してください。
- ・「ん～選べないなあ」と反応があった場合には、「正答誤答はないのでどれか選びましょう」とできるだけ回答を励ましながら促してください。
- ・「わからない」という選択肢は最終手段だと考えてください。なるべくテストを続けていただくよう励ましてください。
- ・回答には厳密な時間制限はなく、自然な会話の流れの中で不自然にならない程度にご対応ください。

### 以下のような問いには下記対応例のように対応します

- ・「全部で何問続くの？」→ 10問くらいですよと教えてください。
- ・「あと何問続くの？」→ もうすぐ終わりますよ、と受け流し、答えないでください。
- ・「今、何問終わったの？」→ 何問(位)ですよと答えて構いません。
- ・「○○ってさっき言ったっけ？」→ 答えず、上手かわしてください。

次へ

MCIS  
認知度チェックテスト

START

00:06:53 秒



対象者に向かって大きな声で質問を読み上げてください。

動物に関するテストは以上です。  
このテストの初めに、10の単語からなるリストを覚えるという作業をしました。  
覚えていますか？

上記の説明後、被検者の回答によって選択します。  
以下のように選択すると色が反転します。

はい



戻る

「はい」以外を選択して「次へ進む」をクリックするとその時点で終了となり、レポートは作成されません。

はい



戻る

いいえ

選択

分からない

選択

テスト開始後2分が経過していない場合は即時記憶時間待ち画面、2分が経過している場合は2分後単語画面に進みます。

戻る

次へ進む

最後の動物テスト画面に戻ります。

© 2006~2009 MILLENNIA Corporation. All rights reserved.

→ 黄色いところが台詞になります

## STEP6

- ・ありがとうございます。動物に関するテストは以上です。
- ・では、このテストを始める数分前に、10の単語からなるリストを覚えていただきました。
- ・覚えていらっしゃるでしょうか？

### 「即時記憶待ちスクリーン」が表示された場合

次のテストに入るまで少し時間が過ぎます。その間に簡単な引き算のテストを行います。  
100から順々に7を引いていってください。  
※この画面は認知度チェックテストが開始されてから2分たないうちにここまで来た場合に表示される画面です。  
ここで表示されている問題はテストの結果には影響しませんので、答えられなくてもあせらないようにしてあげてください。  
**※詳細は次ページを参照ください**

次へ

## 即時記憶時間待ち画面

※この画面はテスト開始から2分たっていない場合にだけ表示されます。

表示されなくても全く問題ありませんので気にしないでください。

MCIS  
認知度チェックテスト

認知度チェックテスト

テスト開始後2分経っていない場合は、2分経つまで待ちます。  
0秒になった時点で画面は自動的に2分後単語画面に進みます。  
何秒残っているかは被検者に伝えないでください。

### 即時記憶時間待ちスクリーン

※アドミニストレーターへのインストラクション：下記の内容を対象者に読み上げて下さい。

次のテストに入るまで少し間がありますので、その間に簡単な引き算のテストを行います。

100から順々に7を引いていってください。

39秒残っています.....

◀ 戻る

1つ前の単語テスト画面に戻ります。

© 2006-2009 MILLENNIA Corporation. All rights reserved.

# 即時記憶時間待ち画面

黄色いところが台詞になります

## STEP6

ありがとうございます。動物に関するテストは以上です。  
では、このテストを始める数分前に、10の単語からなるリストを覚えていただきました。  
覚えていらっしゃいますでしょうか？

### 「即時記憶待ちスクリーン」が表示された場合

・次のテストに入るまで少し時間があります。その間に簡単な引き算のテストを行います。

・100から順々に7を引いていってください。


※この画面はあたまの健康チェックが開始されてから2分経たないうちにここまで来た場合に表示される画面です。  
ここで表示されている問題はテストの結果には影響しませんので、答えられなくても心配する必要はありません。

※また、残りの秒数は被検者に伝えないでください。

次へ



## 2分後単語画面



認知度チェックテスト

START

00:07:05 秒

STEP 1 ✓

STEP 2 ✓

STEP 3 ✓

STEP 4 ✓

STEP 5 ✓

STEP 6 ✓

STEP 7 ✓

STEP 8

STEP 9

対象者に向かって大きな声で質問を読み上げてください。

時間になりました。

それでは、このテストの初めに覚えた10単語をできるだけ多く思い出してください。

対象者の答え

(対象者が思い出した単語に該当するボタンを思い出した順にクリックします)

バター	腕	岸边	手紙	女王
小屋	ポール	チケット	草	エンジン

リストに載っていない言葉(WNOL)

元に戻す

選択した単語が表示されます。

単語テスト画面に戻ります。

戻る

テスト結果画面に進みます。

次へ進む

© 2006-2008 MILLENNIA Corporation. All rights reserved.



## 2分後単語画面

→ 黄色いところが台詞になります

### STEP7

・ありがとうございます。時間になりました。

・それでは、このテストの初めに覚えていただいた10単語をできるだけ多く思い出してください。お答えはひとつずつお願い致します。

### テスト終了

・ありがとうございます。あたまの健康チェックは以上となります。

※ここで「次へ進む」をクリックするとレポートが表示されます。



MCIS  
認知度チェックテスト

START

00:07:19 秒



## 認知度チェックテストの終了

総合評価

問題は見つかりません

MPIS CORE

92.02

レポート表示 ▶

◀ TOPページへ

メニュー画面に戻ります。

あたまの健康チェックを実施したトータルの時間が表示されます。

あたまの健康チェック結果を表示します。  
総合評価：問題は見つかりません、MCIの疑いあり、ボーダーラインのいずれかが表示されます。各ステータスについてはレポートの説明文言を参照してください。回線エラーで結果が取得出来なかった場合は回線エラーが表示されます。  
MPI SCORE：結果が取得できた場合のMPI SCOREを表示します。結果が取得出来なかった場合はハイフンが表示されます。

結果レポートを表示します。  
回線エラーで結果がない場合はアラートが表示されレポートは表示されません。

© 2006~2009 MILLENNIA Corporation. All rights reserved.

## 1回目の場合

### あたまの健康チェック

被検者ID：テスト 太郎 様 生年月日・年齢：1976年10月14日 (37歳)  
性別：男性 検査日：2014年1月8日

- 本紙のご説明 -

本テストの受検結果を掲載しています。  
本結果レポートは、受検された方の認知機能の低下リスクの有無を判別

総合評価が表示されます。

本レポートが提供される情報は、認知症予防や早期発見に関する教育や啓発を目的としたもので医師によるアドバイス、親を受けている治療などに代わるものではありません。また、このレポートで提供される情報や結果は、病気の診断や診断を助成するものではありません。

軽度認知障害（MCI）は認知症ではありません  
(Reference: DSM-5, Arch Neurol 2006;13)

総合評価 問題は見つかりません

※テストの結果は30.3%の割合であるため、100%の精度で結果は得られません。  
この結果は専門の医師にてご確認ください。

MPI スコア／認知機能指数

65

MPI スコアとは対象者の認知機能を示す指数で0～100の数値で表記されます。表記された数値により「MCIの疑いあり（0≦MPI≦49.9）」「問題は見つかりません（50.2≦MPI≦100）」を判定します。この判定は、対象者の年齢、性別、学歴などのバイアスと比較し行われます。ただし、約1%のケースにおいてこの判定ができない場合があります。その場合には「ボーダーライン（49.9≦MPI≦50.2）」と表記されます。MPI スコア

MPI SCOREが表示されます。

定期的なチェックをしましょう

定期的に本テストを受検することにより時系列で対象者の認知機能指数の推移を確認することができます。  
55歳以上の方は1～2回/年の定期チェックをお勧めします。

※出力例

1回目ここに表示されるのは2回目以降のグラフの例です。

## 2回目の場合

### あたまの健康チェック

被検者ID：テスト 太郎 様 生年月日・年齢：1976年10月14日 (37歳)  
性別：男性 検査日：2014年2月4日  
前回検査日：2014年1月8日

- 本紙のご説明 -

本テストの受検結果を掲載しています。  
本結果レポートは、受検された方の認知機能の低下リスクの有無を判別するものです。  
本テストは様々な理由によりみられる軽度認知障害（MCI）と正常老化からくるもの忘れを97%の精度で判別します。

総合評価が表示されます。  
前回と比べてどうなのかコメントが表示されます。

軽度認知障害（MCI）は認知症ではありません  
(Reference: DSM-5, Arch Neurol 2006;13)

総合評価 問題は見つかりません  
前回と比較して改善

※テストの結果は30.3%の割合であるため、100%の精度で結果は得られません。  
この結果は専門の医師にてご確認ください。

MPI スコア／認知機能指数

80.99 (前回 65)

MPI スコアとは対象者の認知機能を示す指数で0～100の数値で表記されます。表記された数値により「MCIの疑いあり（0≦MPI≦49.9）」「問題は見つかりません（50.2≦MPI≦100）」を判定します。この判定は、対象者の年齢、性別、学歴などのバイアスと比較し行われます。ただし、約1%のケースにおいてこの判定ができない場合があります。その場合には「ボーダーライン（49.9≦MPI≦50.2）」と表記されます。MPI スコアは12万以上のデータを基に人口統計学的に開発されたもので信頼性を受けています。

MPI SCOREが表示されます。2回目以降は過去の点数をグラフで表したものの、前回の点数が表示されます。

定期的なチェックをしましょう

定期的に本テストを受検することにより時系列で対象者の認知機能指数の推移を確認することができます。

## 1回目の場合

### あたまの健康チェック

被検者ID: 2017 0518 様      生年月日・年齢: 50歳  
性別: 男性      検査日: 2017年5月17日

- 本紙のご説明 -

本テストの受検結果を掲載しています。  
本結果レポートは、受検された方の認知機能の低下リスクの有無を判別するものです。

総合評価が表示されます。

軽度認知障害（MCI）は認知症ではありません  
(Peterson RC et al. Arch Neurol 2001)

総合評価	MCIの疑いあり
------	----------

MPI スコア／認知機能指数

**36.91**

MPI スコアとは対象者の認知機能を示す指数で0～100の数値で表記されます。表記された数値により「MCIの疑いあり（ $0 \leq \text{MPI} < 49.8$ ）」「軽度認知障害（ $50.2 \leq \text{MPI} < 100$ ）」を判定します。この判定は、対象者の回答を同年齢、性別、学習年数などのピアグループと比較行われます。ただし、約1%のケースにおいてこの判定ができない場合があります。その場合には「ボーダーライン（ $49.8 \leq \text{MPI} < 50.2$ ）」と表記されます。MPI スコアは12万以上のデータを基に人口統計学的に開発されたもので米国特許を受けています。

MP ISCOREが表示されます。

※出力例

1回目ここにここに表示されるのは2回目以降のグラフの例です。

## 2回目の場合

### あたまの健康チェック

被検者ID: 2017 0518 様      生年月日・年齢: 1904年1月6日 (113歳)  
性別: 男性      検査日: 2017年5月29日  
前回検査日: 2017年5月17日

- 本紙のご説明 -

本テストの受検結果を掲載しています。  
本結果レポートは、受検された方の認知機能の低下リスクの有無を判別するものです。  
本テストは様々な理由によりみられる軽度認知障害

総合評価が表示されます。  
前回と比べてどうなのかコメントが表示されます。

軽度認知障害（MCI）は認知症ではありません  
(Peterson RC et al. Arch Neurol 2001)

総合評価	MCIの疑いあり 前回と比較して低下
------	-----------------------

MPI スコア／認知機能指数

**7.51 (前回 36.91)**

MPI スコアとは対象者の認知機能を示す指数で0～100の数値で表記されます。表記された数値により「MCIの疑いあり（ $0 \leq \text{MPI} < 49.8$ ）」「軽度認知障害（ $50.2 \leq \text{MPI} < 100$ ）」を判定します。この判定は、対象者の回答を同年齢、性別、学習年数などのピアグループと比較行われます。ただし、約1%のケースにおいてこの判定ができない場合があります。その場合には「ボーダーライン（ $49.8 \leq \text{MPI} < 50.2$ ）」と表記されます。MPI スコアは12万以上のデータを基に人口統計学的に開発されたもので米国特許を受けています。

MPI SCOREが表示されます。2回目以降は過去の点数をグラフで表したものの、前回の点数が表示されます。

## あたまの健康チェック

### あたまの健康チェックの特徴

本テストは様々な要因からくる認知機能の低下と正常老化現象からくるもの混れとを、高い精度\*で区別します。

本テストは認知機能の一般的な評価を目的することを目的とします。

認知機能に関する病状または病気を診断する、あるいは、治療することを目的としたものではありません。

\*文献: PNAS 2006; 103(13): 4819-24

### 定期的なチェックを

55歳以上の方には6ヶ月に1度、少なくとも1年に1度の定期的な本テスト受検をお勧めします。継続して本テストの受検をいただくことによりMCI(認知機能低下)の推移を観察することが出来ます。

また、ご家族に認知症の方がいらっしゃる場合には2-4回/年の本テスト受検をお勧めします。

### 軽度認知障害(MCI)とは

軽度な認知機能の低下が認められるが認知症ではなく日々の日常生活では自立した状態とされています。

MCIの状態のまま放置した場合であっても、深刻な認知機能低下が起こらないケースもあるとされていますが、その後の生活習慣改善などの予防や治療なしに放置された場合、認知症へと進行するケースも報告されています。

軽度認知障害は、高血圧、ライフスタイル、高コレステロール、糖尿病、喫煙といった治療可能な疾患によるものが50%程度占めるとも言われています。そのため、糖尿病や心臓病などと同時に認知機能低下に対する予防や治療が早期に行われることが最も重要です。

### 様々な原因があります

認知機能低下の原因として頻りにアルツハイマーが挙げられますがその他にも認知機能低下の原因となるごく一般的なコンディションは数多くあげられます。

主な認知機能低下の原因と考えられる要因: ストレスや不安感、注意欠陥障害、うつ病、甲状腺疾患や糖尿病、アルコールや化学物質依存、ビタミンB-12不足、脳卒中や脳血管性疾患、医薬品、頭部外傷 など。

かならず作成されます。テストの結果にはよりません。  
固定の表示になります。



# 被検者情報の更新方法



MCIS  
認知度チェックテスト

MY PAGE

## メニュー



認知度チェックテスト

スタート

あたまの健康チェックは実施しませんが、「認知度チェックテスト」をクリックして被検者情報入力画面を表示します。

## 管理画面メニュー



障害データ再送

データを再送



利用状況レポート

利用状況確認

参考資料: 同意書 [Download](#)

ログアウト

# 被検者情報入力画面①

MCIS  
認知度チェックテスト

## 対象者情報をご入力ください

記入する必須項目には「\*」がついています。

アセスメントID: 20170705121951

アセスメント年月日: 2017年7月5日

**被検者IDで検索** 被検者情報クリア

\*被検者ID: ID1:  ID2:

\*性別: 男  女

\*生年月日: --年を選択する-- --月を選択する-- --日を選択する--

\*学習経験年数

6年未満の場合は6、31年以上の場合は30と、6～30の範囲で入力して下さい。  
入力例) 小学校卒業の場合 : 6  
中学校卒業の場合 : 9  
高等学校卒業の場合 : 12  
4年制大学卒業の場合 : 16

\*人種

アメリカ先住民、アラスカ先住民 American Indian or Alaska Native	<input type="button" value="選択"/>	アジア系 Asian	<input type="button" value="選択"/>
黒人、アフリカ系アメリカ人 Black or African American	<input type="button" value="選択"/>	ヒスパニック、ラテン系 Hispanic or Latino	<input type="button" value="選択"/>
ハワイ先住民もしくはその他の太平洋諸島系 Native Hawaiian or Other Pacific Islander	<input type="button" value="選択"/>	白人 White (Caucasian)	<input type="button" value="選択"/>
その他 Not Certain	<input type="button" value="選択"/>		

戻る

次へ進む

「被検者IDで検索」をクリックして  
被検者ID検索画面を表示します。

被検者ID検索画面で「検索」をクリックして、  
既存の被検者情報を検索します。  
数が多い場合は、検索条件として  
被検者IDを入力した後  
「検索」をクリックして下さい。

ID検索 - Mozilla Firefox

https://mciscreen.jp/selectcustomer.aspx?id=1

被検者ID:  ※ID1、ID2、どちらかを入力してください。

ID検索 - Mozilla Firefox

https://mciscreen.jp/selectcustomer.aspx?id=1

被検者ID: 2017 ※ID1、ID2、どちらかを入力してください。

ID	被検者ID	選択
17364	2017 0518	<input type="button" value="選択"/>
17662	2017 0529	<input type="button" value="選択"/>
18304	2017 0628	<input type="button" value="選択"/>

検索条件に該当する  
既存の被検者情報が表示されますので、  
対象の被検者情報を選択していただくと  
被検者情報入力画面に戻ります。



## 対象者情報をご入力ください。

記入する必須項目には「\*」がついています。

アセスメントID: 20170707102740

アセスメント年月日: 2017年7月7日

被検者IDで検索

被検者情報クリア

\*被検者ID:

ID1: 2017

ID2: 0628

\*性別

男

✓ 戻る

女

選択

\*生年月日

明治39年(1906)

01

07

\*学習経験年数

9

6年未満の場合は6、31年以上の場合は30と、6～30の範囲で入力して下さい。

入力例) 小学校卒業の場合 : 6

中学校卒業の場合 : 9

高等学校卒業の場合 : 12

4年制大学卒業の場合 : 16

American Indian or Alaska Native

戻る

Asian

選択

黒人、アフリカ系アメリカ人  
Black or African American

選択

ヒスパニック、ラテン系  
Hispanic or Latino

選択

ハワイ先住民もしくはその他の太平洋諸島系  
Native Hawaiian or Other Pacific Islander

選択

白人  
White (Caucasian)

選択

その他  
Not Certain

選択

戻る

次へ進む

前回入力、選択した内容が表示されます。  
被検者IDを再入力、再選択して「次へ進む」ボタンをクリックしてください。

あための健康チェックスタート画面に進みます。  
スタート画面が表示された時点で変更は完了です。



MCIS  
認知度チェックテスト

これより、  
認知度チェックテストを始めます。  
【スタート】をクリックすると  
テストが始まります。

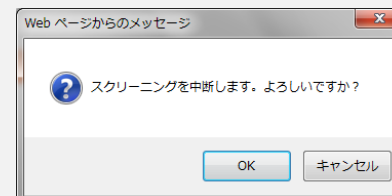
スタート ▶

◀ スクリーニング中断 ▶

被検者情報を編集することが目的になりますので、テストを中断します(実際にはスタートボタンをクリックしなければ始まりません)。

クリックすると次の確認メッセージが表示されます。

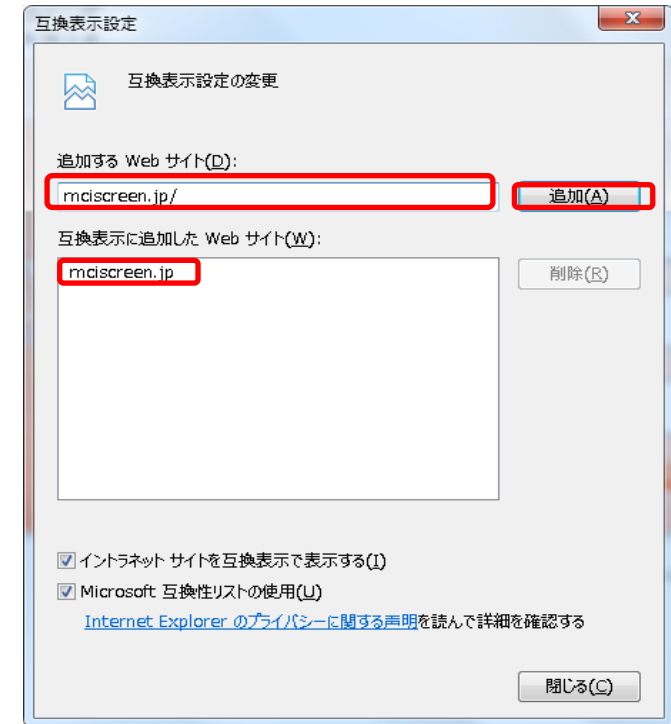
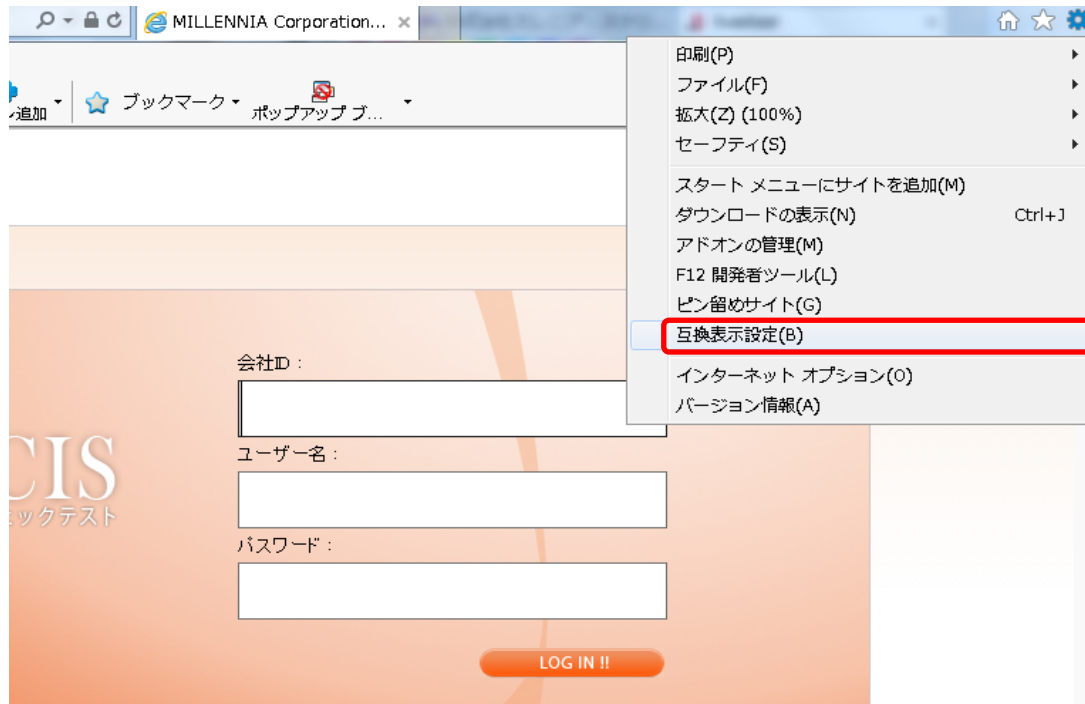
OKボタンをクリックするとテストを中断し、メニュー画面に戻り、キャンセルをクリックすると何も起こらずに確認メッセージが消えます。また、レポートは作成されません。



## 別表1 FASTによるアルツハイマー型認知症の重症度のアセスメント

臨床診断	FASTにおける特徴
1.正常	
2.年相応	物の置き忘れなど
3.境界状態	熟練を要する仕事の場面では、機能低下が同僚によって認められる。新しい場所に旅行することは困難。
4.軽度のアルツハイマー型認知症	夕食に客を招く段取りをつけたり、家計を管理したり、買物をしたりする程度の仕事でも支障をきたす。
5.中等度のアルツハイマー型認知症	介助なしでは適切な洋服を選んで着ることができない。入浴させるときにもなんとか、なだめすかして説得することが必要なこともある。
6.やや重度のアルツハイマー型認知症	不適切な着衣。入浴に介助を要する。入浴を嫌がる。トイレの水を流せなくなる。失禁。
7.重度のアルツハイマー型	最大約6語に限定された言語機能の低下。理解しうる語彙はただ1つの単語となる。歩行能力の喪失。着座能力の喪失。笑う能力の喪失。昏迷および昏睡。

ブラウザでの互換表示設定をおこなってください。

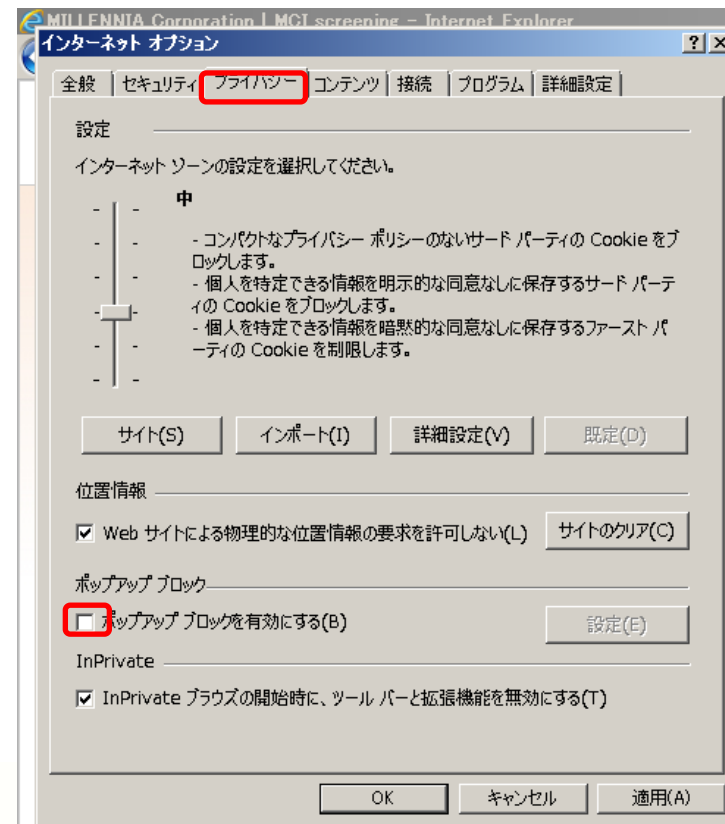
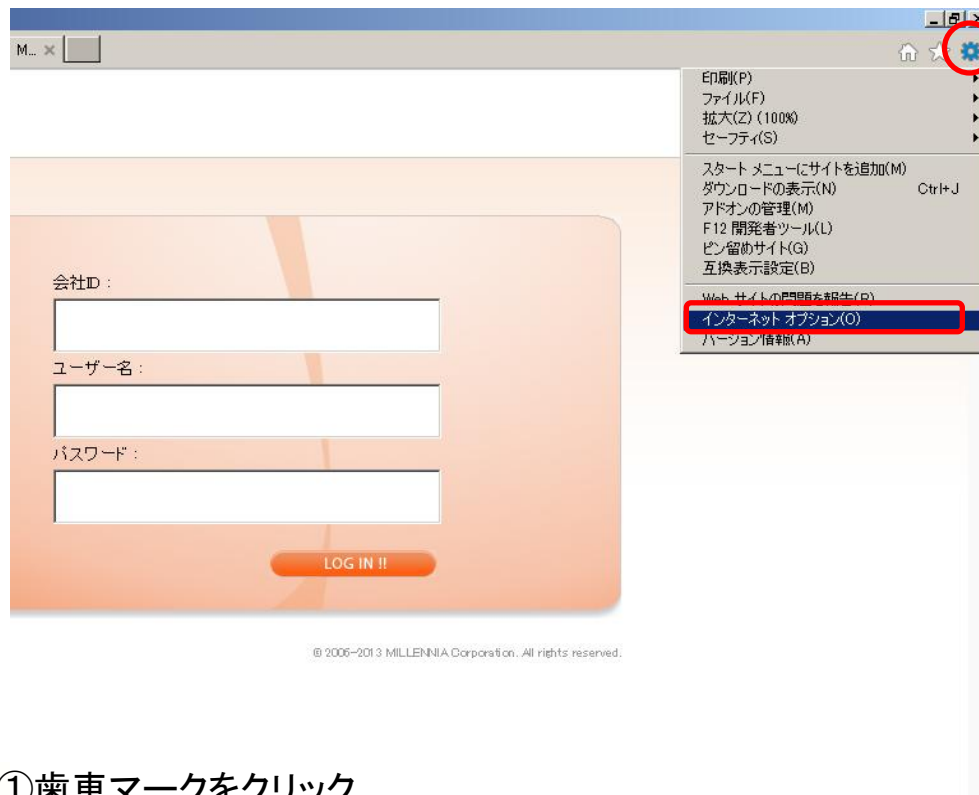


- ① 歯車マークをクリック
- ② 互換表示設定をクリック
- ③ 追加するWebサイトにmciscreen.jpと入力
- ④ 追加ボタンをクリック
- ⑤ 完了

## 結果レポートが表示されない場合①

それぞれのブラウザでのポップアップブロックの設定をおこなってください。

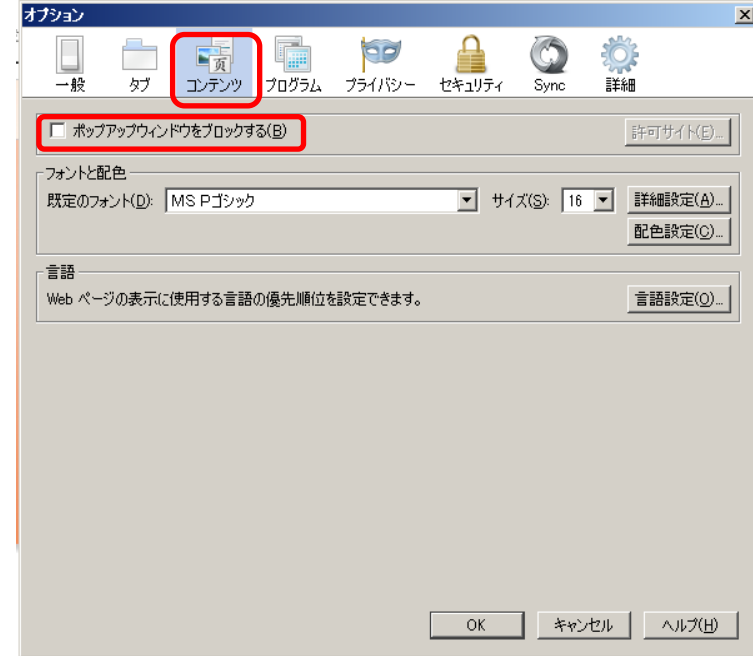
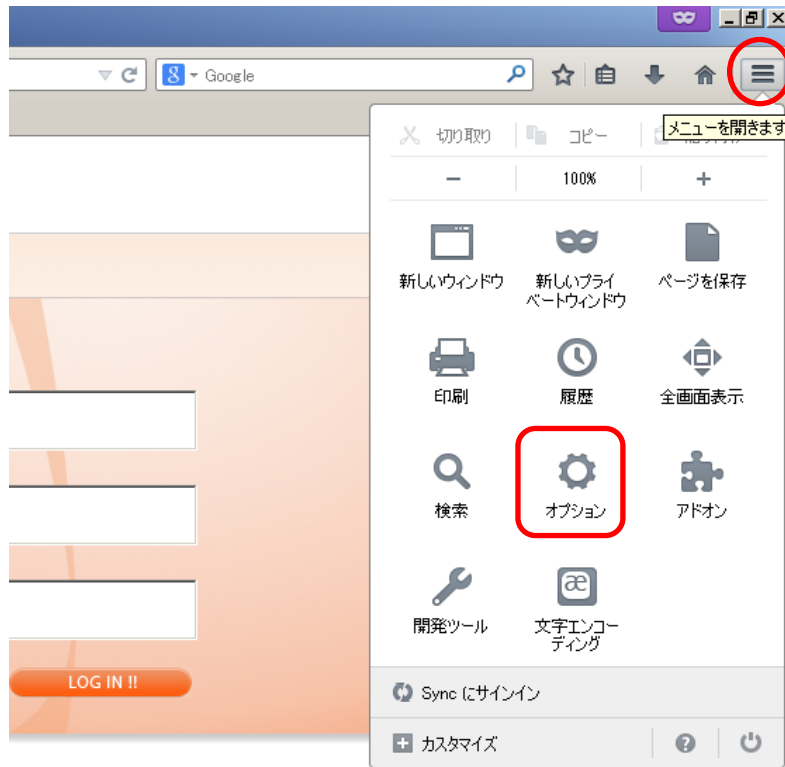
### Internet Explorerをご使用の場合



- ①歯車マークをクリック
- ②インターネットオプションをクリック
- ③プライバシータブをクリック
- ④『ポップアップブロックを有効にする』のチェックボックスをクリックしてチェックを外す
- ⑤再ログイン
- ⑥完了です

## 結果レポートが表示されない場合②

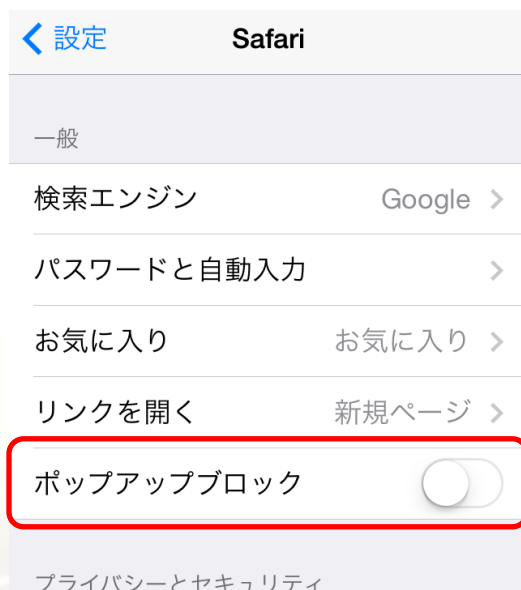
### Fire Foxをご使用の場合



- ①メニューマークをクリック
- ②オプションをクリック
- ③コンテンツタブをクリック
- ④『ポップアップウィンドウをブロックする』のチェックボックスのチェックを外し「OK」をクリック
- ⑤Fire Foxを一旦終了させ、再度起動し、あたまの健康チェックに再ログイン
- ⑥完了

## 結果レポートが表示されない場合③

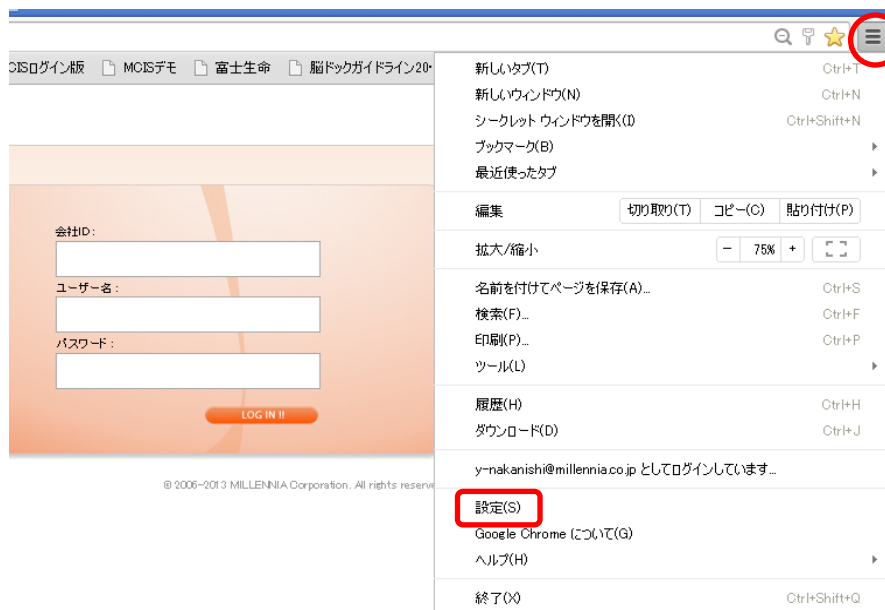
### i-padをご使用の場合



- ①設定をクリック
- ②Safariをクリック
- ③ポップアップブロックを無効にする  
(チェックを左に移動する)
- ④再ログイン
- ⑤完了

# 結果レポートが表示されない場合④

## Google Chromeをご使用の場合①



Chrome

履歴

拡張機能

設定

概要

設定

ユーザー

現在、あなたが唯一の Google Chrome ユーザーです。

新しいユーザーを追加...

このユーザーを削除

ブックマークと設定をインポート...

既定のブラウザ

既定のブラウザは Google Chrome に設定されています。

プライバシー

コンテンツの設定...

閲覧履歴データの消去...

Google Chrome は、より快適なブラウジングを提供する目的でウェブ サービスを使用することがあります。これらのサービスを無効にすることもできます。詳しく見る

☒ ウェブ サービスを使用してナビゲーション エラーの解決を支援する

①メニューマークをクリック

②設定をクリック

③『プライバシー』コンテンツの設定をクリック

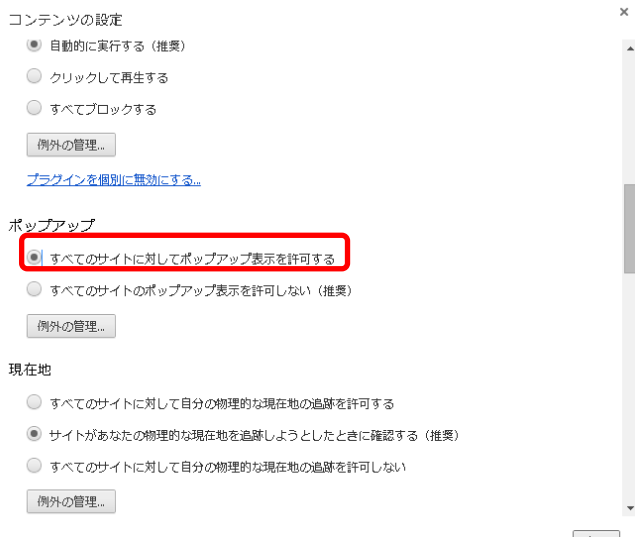
③『ポップアップ』欄

『すべてのサイトに対してポップアップ表示を許可する』

チェックボックスをクリック

④再ログイン

⑤完了

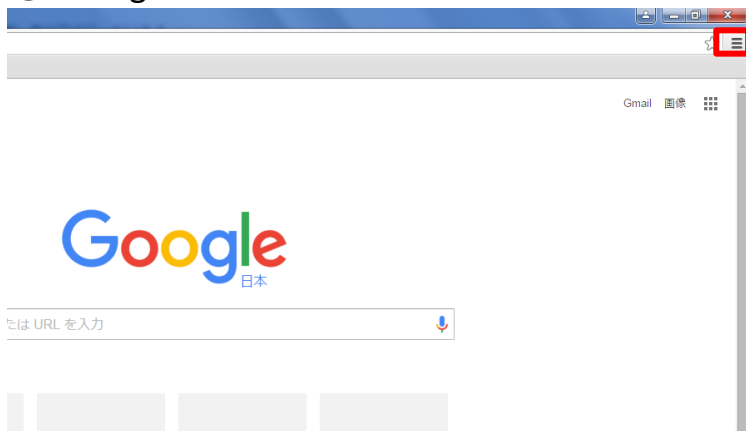




# 結果レポートが表示されない場合⑤-1

## Google Chromeをご使用の場合②

### ①『Google Chromeの設定』ボタンをクリック



### ②『設定』をクリック



### ③『拡張機能』をクリック



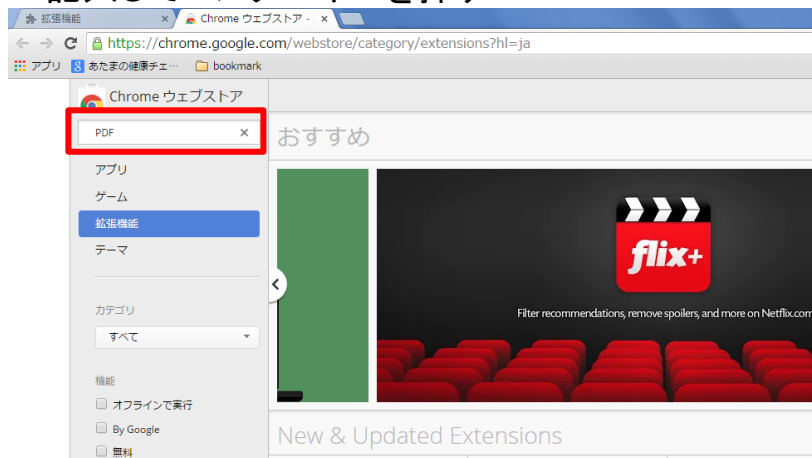
### ④『他の拡張機能を見る』をクリック



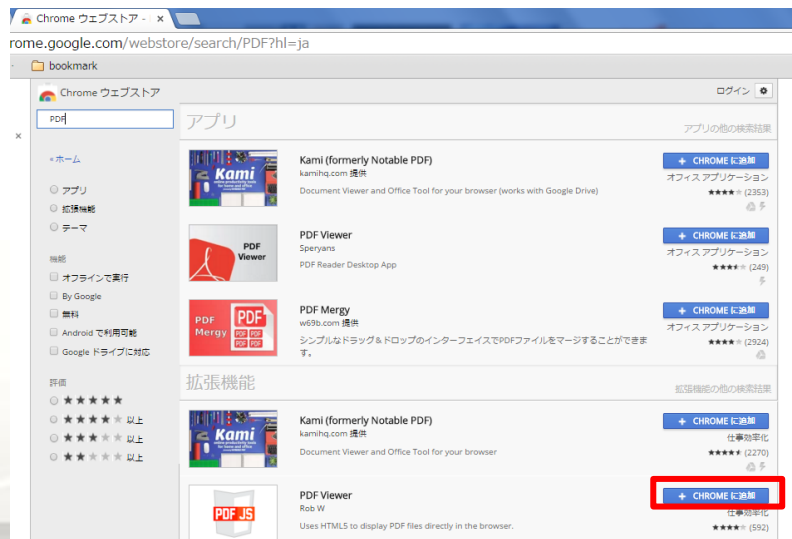


## 結果レポートが表示されない場合⑤-2

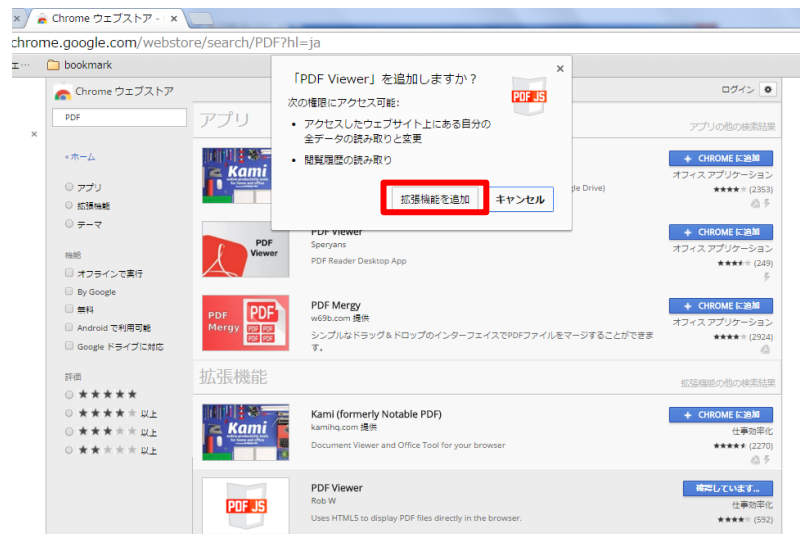
⑤Chromeウェブストア下の検索ボックスに『PDF』と記入してエンターキーを押す



⑥拡張機能欄の『PDF Viewer』右にある『+CHROMEに追加』をクリック



⑦『拡張機能を追加』をクリック



⑧下記表示が出れば結果レポートが表示されます



**Q:どんな目的のテストですか？**

A:認知症の前駆状態である軽度認知障害(MCI)と正常老化による健常なものの忘れを97.3%の精度で判別することにより早期に適切な予防などに役立てることを目的としています。

**Q:どのようなテストですか？**

A:オペレーターによる質問にお答え頂く形式のテストで、10分程度で完了します。

全米アルツハイマー協会の助成を受け米国国立老化研究所が推薦する認知症の全米診断基準であるCERADバッテリーを基に開発されています。

**Q:認知症の診断を行えますか？**

A:いいえ。本テストは認知症の前駆状態を意味する軽度認知障害(MCI)と正常老化による健常なものの忘れの判別ツールとして開発されました。認知機能に關与し得る病状または病気を診断する、あるいは、治療することを目的としたツールではありません。

認知症の確定診断については近隣の専門医へ相談の上、適切な検査、診断を受けることをお勧めします。

**Q:テストの信ぴょう性と精度はどの程度ですか？**

A:本テストの精度は米国で行われた各種画像診断や血液検査との比較による医学実証テストにおいて97.3%の精度が実証され文献発表されています。福岡大学で行われた同様の実証テストにおいても96%の精度が医学文献で報告されています。

**Q:なぜ早期発見がそれほど重要なのですか？**

A:MCIの方が、将来必ず認知症になるとは限りません。他の疾病同様にMCIの有無やその原因を早期かつ的確に断定できれば、早期に予防や治療を始めることができ、周囲の理解の中でできるだけ自然な老化に近い状態で暮らしていくことにもつながります。

また最近の研究では、MCIの方が適切な生活習慣改善による予防策や治療を受ければ認知症の発症を防いだり、発症を遅らせたりできることがわかってきています。

**Q:どの程度の頻度でテストすれば良いのでしょうか？**

A:55歳以上の方には6ヶ月に1度、少なくとも1年に1度の定期的な本テスト受検をお勧めします。

継続して本テストの受検をいただくことによりMPI(認知機能指数)の推移を観察することができます。

また、ご家族に認知症の方がいらっしゃる場合には2-4回/年の本テスト受験をお勧めします。

# 本テスト実施クライアント 環境

MCIサイトのクライアント環境は以下のとおりです：

OS: Windows7、8、10

ブラウザ: IE 9、10、11、Microsoft Edge、  
GoogleChrome、Fire Fox

端末: IPAD(初期版以降がご利用になれます)

ブラウザ: Safari 6以降 (IOS 6以降)

OS: MAC OS X

ブラウザ: Safari 6以降

※PDF・CSVに対応する機能を用います。





## よくある質問

Q1.テスト説明のセリフが文語的で伝わりづらいのですが言い方を変えてもよいですか？

A1.はい。説明内容が変わらないように配慮して被検者にわかり易い表現でお伝えください。

Q2.被検者が日本語が話せる外国人、ハーフの場合はどの人種を選択すればよいですか？

A2.被検者の国籍や主な言語を参照にしてください。

Q3.学習年数をお聞きする際に一般的な年齢での学習ではなく加齢してからの学習  
(例:60歳で改めて大学入学など)している場合の学習年数のカウント方法はどうすればいいですか？

A3.学習と呼べるものはすべてカウントしてください。

ただし31年以上入力するとエラーになりますので30年以上の方は30年と入力してください。

Q4.被検者が難聴の場合は画面を見せながらテストしてもよいですか？

Q4.いいえ。被検者が難聴の場合はテストは実施を行うことが困難です。

Q5.ボタンを間違えて押してテストが途中終了になりました。やり直しはできますか？

A5.いいえ。再度テストを実施してください。

Q6.被検者IDを間違えて登録してしまいました。修正はできますか？

A6.はい。本マニュアル37ページをご参照ください。

Q7. 途中終了はどうしたらなりますか？

A7.10単語テスト説明画面で『理解した』以外、復唱画面で『正しく復唱されなかった』を選択、動物テストで『分からない』を選択  
10単語覚えているか確認画面で『理解した』以外を選択すると途中終了になります。

本マニュアル14,16,24,26ページをご参照ください。

# 10単語テストの注意点

- 1.被検者の回答が聞き取れなかった場合はもう一度聞き直しましょう。
- 2.回答が多い場合15単語程度で静止し打ち切ってください。
- 3.単語が理解できない場合ヒントを出しても問題ありません。(例:くだもののりんごですよ)
- 4.1ワードに復唱するまでの時間は2ー3秒が目安です。
- 5.聞き間違いで正してあげるのは問題ありません。
- 6.「〇〇って言ったっけ？」という問いには答えず、受け流してください。
- 7.同じものを続けて「え～リンゴ、リンゴ、リンゴ」と言った場合には、3回クリックせず、1回のみクリックしてください。
- 8.思い出しを完了し「次へ進む」をクリック後、「やはり思い出した！」という場合には、「戻る」ボタンで戻り、その単語を選択してあげてください。しかし、次の復唱が始まった状態では不可とします。
- 9.「リンゴ、いややっぱり、リンゴじゃない」と一度発した単語を即座に否定した場合には「元に戻す」ボタンで取り消してあげてください。
- 10.「ん～、みかんだったかなあ～、あ、やっぱり、リンゴ」と一度発した単語を即座に否定した場合には、訂正後の単語のみをクリック(リンゴ)してください。
- 11.「ん～、みかんかなあ～、リンゴかなあ」と回答があった場合、「みかんですか？リンゴですか？」と確認してください。
- 12.「今何問目？」「答えられないと結果が悪くなりますか？」「リンゴって言ったっけ？」などの質問には答えずテストですのでお答えできませんとお答えください。
- 13.理解できないと仰せの方にはなるべく理解いただくよう説明して、どうしても理解できないようであればテスト終了となり再度テストできない旨を伝えてください。



## 動物テストの注意点

- 1.「〇〇だからこれかな」と選択理由を述べる方には「説明の必要はないですよ」と動物選択のみの回答を促してください
- 2.「ん～選べないなあ」と反応があった場合には、「正答誤答はないのでどれか選びましょう」とできるだけ回答を励ましなが  
ら促してください
- 3.「わからない」という選択肢は最終手段だと考えてください。なるべくテストを続けていただくよう励ましてください。

以下のような問いには下記対応例のように対応します

- 1.「全部で何問続くの？」→ 10問くらいですよと教えてください
- 2.「あと何問続くの？」→ もうすぐ終わりますよ、と受け流し、答えないでください
- 3.「今、何問終わったの？」→ 何問(位)ですよと答えて構いません
- 4.「〇〇ってさっき言ったっけ？」→ 答えず、上手くかわしてください